



【抄訳リリース】
報道関係各位

2020年5月22日
株式会社 Box Japan

Box、働き方をシンプルにする 新しいユーザーエクスペリエンス All-New Box を発表

コレクションおよびアノテーションの新機能、Zoom との統合機能の拡張をはじめとする All-New Box のエクスペリエンスが
リモートワークの生産性とチームコラボレーションを促進

クラウド・コンテンツ・マネジメントをリードする Box, Inc. (NYSE: BOX、以下 Box) の日本法人である株式会社 Box Japan (本社：東京都千代田区、代表取締役社長：古市克典、以下 Box Japan) は、生産性の向上とコラボレーションの促進を可能にする All-New Box のエクスペリエンスを実装することを発表しました。今回の発表では、重要なトピックやワークストリームを中心としたファイルやフォルダの整理を容易にする「コレクション」機能、ファイルに Box プレビューから注釈を追加できる「アノテーション」機能、ビデオ会議におけるコンテンツの共有を容易にする Zoom 統合機能の強化を含む、Box の機能アップデートが紹介されました。

Box の共同創業者兼 CEO であるアーロン・レヴィ (Aaron Levie) は、次のように述べています。

「ワークスタイルは、この2ヶ月の間に、過去数十年に経験したことのない急激な変化を遂げています。All-New Box では、ユーザビリティをさらに向上させています。日々使用するアプリケーションで容易にコンテンツを扱えるというメリットに加え、ファイルの整理やリアルタイムの共同作業をこれまで以上に便利にする、強力なツールを新たに実装しています。」

また、米ニュークリアス・リサーチ (Nucleus Research) 社のプリンシパルアナリストであるバーバラ・ペック (Barbara Peck) 氏は、次のように述べています。

「これからの働き方は、つい最近までの状態とは全く異なるものになることが予測されます。多くの組織が、少なくとも一部の業務を恒久的にリモートワークで行うようになるでしょう。クラウド技術はますます重要性を増しており、セキュアなコラボレーションとベストオブブリードのアプリケーションとの統合が、将来の業務を支える鍵となります。ニュークリアス・リサーチの調査『[Content Management and Collaboration Value Matrix](#)』(コンテンツ管理とコラボレーション価値の評価)において、Box はリーダーに位置づけられています。リモートワークへの移行が急速に進むなか、リモート環境におけるセキュアなコラボレーションを実現する Box は、ユニークな優位性を有していると言え



るでしょう。」

個人の生産性を最大化する新機能「コレクション」

All-New Box は、よりシンプルで使いやすくなったユーザーインターフェースによって Box 内のナビゲーションを容易にし、一人一人の生産性を最大化します。All-New Box には、デザインを刷新したアクションバー、アイコン、Zip や RAW ファイルの高度なプレビュー機能などの強化に加えて、Box 内のコンテンツをパーソナライズして整理するための新機能「コレクション」が実装されています。

コレクションは、5月7日よりベータ版が一般公開されており、コンテンツの整理に便利な機能を提供します。ユーザーは、プロジェクトや、プロジェクトに関連するコンテンツのための専用スペースを Box 上に作成し、名前をつけ、ファイル、フォルダ、ブックマークされたドキュメントなどの関連コンテンツをそこに追加します。他のチームメンバーによる Box 上の共有コンテンツへのアクセスには影響しません。

例えば、「イベント契約」、「マーケティングローンチ」、「ユーザー調査」と名づけたコレクションに、各プロジェクトや業務プロセスに関するドキュメントやフォルダを分類します。コレクションは、ユーザー自身が使いやすいようにコンテンツを整理する機能を提供し、ユーザー個人の生産性向上を支援します。なお、コレクションの情報には、Box の左側のナビゲーションから容易にアクセスできます。

シームレスなチームコラボレーションを促進する新機能「アノテーション」、「ファイルリクエスト」、および Box+Zoom の機能拡張

今やさまざまな業務で地域やタイムゾーン、組織を超えたチームコラボレーションが行われており、コラボレーションをセキュアなものにすることが重要な課題となっています。外部のパートナーや顧客とのやり取りは、業務を遂行するうえで極めて重要です。このような状況は、Box 内および Box と業務アプリケーションの連携のあり方を見直す機会となっています。All-New Box がもたらすエクスペリエンスは、コンテンツやチームが分散してしまっている課題を解決するための合理的なソリューションとなります。

新機能「アノテーション」: コラボレーションにおいては、共有するコンテンツに対するフィードバックとレビューを効果的に行うことが重要です。アノテーション機能を利用することで、ファイルのプレビューの際に、自由な形式のマークアップやテキストコメントを直接 Box 上に記録することができます。すなわち、コンテンツに注釈を残すために外部のアプリケーションを使用する必要がなくなります。例えば、PDF ファイルやスライドにハイライトやコメントを入れるといった場合に、ユーザーはそれぞれのアプリケーションを開く必要はなく、Box のプレビュー画面から直接編集することができます。

新機能「ファイルリクエスト」: ファイルリクエストは、外部の共同作業から、Box アカ



ウントの有無にかかわらず、ファイルやメタデータをセキュアかつ確実に受け取ることを可能にします。これは、従来のFTPや、高コストのカスタムポータル、紙の書類による低速な送信を置き換える機能となります。ファイルリクエストでは、ユーザーは、外部の共同作業員に対し、ファイルの提供を促すためのリンクを送信します。リンクを受け取った共同作業員が、ファイルをリンク先にドラッグ&ドロップすることで、ファイルはBox上に保存されます。補足情報はファイルのメタデータとして自動保存され、ワークフローのトリガーや、Box内でのコンテンツ検索に活用されます。

Zoom 統合機能の強化: BoxとZoomの統合機能は[昨年リリース](#)され、ここ数か月のリモートワークの増大に伴って[大きく伸びています](#)。BoxとZoomの統合機能の拡張により、Boxのユーザーは、プレビューからのクリックひとつで、Box上のコンテンツから直接Zoomミーティングを設定したり、会議に参加することができます。

提供スケジュール

- All-New Boxのユーザーインターフェース（コレクション、および、ファイルリクエストの拡張版）は、現在ベータ版を一般提供しています。
- Zoom 統合機能の拡張版は、5月下旬リリースとなる予定です。
- アノテーションの一般公開は、7月となる予定です。
- Boxの新機能については、5月15日開催のWebセミナー「What's new with Box」（Boxの新機能）、および、ブログ記事『Unleash your best work with all-new Box』（Boxの新機能で働き方をもっと自由に）でも詳しく解説いたします。

Box について

クラウド・コンテンツ・マネジメントプラットフォームをリードするBox（NYSE: BOX）は、ベスト・オブ・ブリード型アプローチで提供されるITスタックにより、企業のビジネスプロセスの加速、業務におけるコラボレーションの強化、さらに、企業が保有する情報の保護を支援します。2005年に設立され、アストラゼネカ、ゼネラル・エレクトリック、JLL、ネーションワイドの各社を含むグローバルをリードする企業を、また、日本における6,000社以上の企業を支援しています。Boxは、カリフォルニア州レッドウッドシティに本社を置き、米国、ヨーロッパ、アジアに拠点を持っています。Boxに関する詳細は、Webページ <https://www.box.com/ja-jp/> をご覧ください。